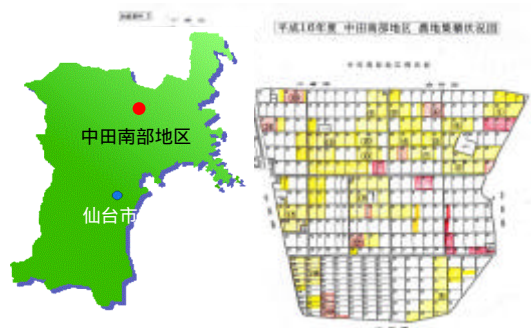


【特集:おらほの農地集積】

「ほ場整備を契機とした循環型農業のとりくみ」

～有機センターを活用した耕畜連携による、安全・安心な作物を目指した農業の推進～

なかだなんぶ  
中田南部地区



1. 地区の概要

事業名	県営ほ場整備事業(担い手育成型)	担い手農家戸数	個別11戸、3組織、1法人
関係市町村	中田町	担い手経営面積	
関係土地改良区	北上川沿岸中田地区土地改良区	(実施前)	29.4ha
工期	H8～H19	H16年度実績	120.2ha
受益面積	362.0ha	農地集積増加率	142.2%
総事業費	4,921百万円	農地集積率	33.2%

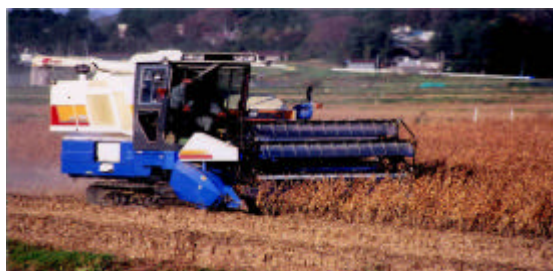
2. 地域農業の現状

本地区は宮城県北部中田町の中央部に位置し、一級河川北上川の右岸に展開する水田地帯です。「ひとめぼれ」「ササニシキ」の主産地となっており、平均反収565kgと品質・収量とも県内で上位(平均収量県内第1位)クラスにあります。

農業形態は水稻をベースに畜産(酪農、和牛飼育、和牛繁殖、養豚)経営が盛んであり、果樹(リンゴ)、施設野菜団地(きゅうり)があるなど、複合経営が確立している地域です。



【大区画ほ場の収穫作業】



【生産組織による大豆収穫状況】

3. 耕畜連携による取り組み

近年、畜産経営の大規模化と従事者の高齢化に伴う労働力不足などが増加し、家畜排せつ物の利用が困難となりました。それに伴い、排せつ物の野積みなどの不適切な管理が増加し、異臭等の公害問題がクローズアップされてきました。このことから、家畜排せつ物法の施行を前にした平成11年度に「堆肥センター整備に関する要望書」が提出され、当地区内の中央部に共同利用施設堆肥舎を設置することになり、平成14年から工事が着工し、平成16年10月22日の完成時には関係者約80人が出席して、有機農業の推進を今後担うべく中核施設の稼働を祝い開所式が執り行われました。敷地面積は約1haで約3,000㎡の堆肥施設が整備され1日当たり23tの排せつ物の処理が可能で、製造される堆肥は年間2,000tが見込まれています。

畜産経営が盛んな当地区において有機農業の生産基盤が整い、耕種農家と畜産農家の耕畜連携による“安心・安全・おいしい!”作物を提供できる循環型農業のさらなる発展が期待されています。



【中田町有機センター】

施設の概要

名称	中田町有機センター
所在地	登米郡中田町上沼地内
管理運営者	みやぎ登米農業協同組合
完成	平成16年10月
敷地面積	9,985㎡
処理能力	23t/日

...有機センター完成についてのコメント...

畜産を営む上での課題だった排せつ物処理が、有機センターの完成により解決へ向けて大きく前進しました。良質なたい肥を生産するため、排せつ物の管理・調整に日ごろから気を配り、良好な状態でセンターが運営できるよう努めていきたいと思えます。(中田町有機センター利用組合長 千葉完司さん 弥勒寺南区)



消費者は、安全で安心な作物を求めています。わたしは有機農法を取り入れています。作物の出来の良し悪しはたい肥で大きく変わります。有機農法で使えるものであれば、一般の人たちも安心して利用できる。そのようなたい肥が作られることを期待しています。(地区内できゅうりのハウス栽培を営む菅原敏之さん 金谷)

4. 農地集積目標達成に向けた活動状況

農地集積事業の目標達成に向けて、集落毎のアグリセンター方式を採用し、現在16のアグリセンターが組織され、自主的かつ主体的な土地利用調整が行われています。しかしながら、担い手が規模拡大を望んでも、出し手農家の事業に対する理解が希薄であるため、集落説明会を開催するとともに、農地集積のメリットを提示しながら担い手の意識高揚に努めております。



【集落説明会開催】

このほか農地集積を進めるために行ったフォーラムでは「農地集積 in なかだ」を開催し、東京大大学院の谷口教授から「米政策大綱と日本農業の行方」と題した基調講演と米山町「とねやしき農場」の長浦氏から実践事例の報告をいただき、また、パネルディスカッションでは地元の担い手を交えた活発な意見交換が行われました。



【2004 農地集積フォーラム in なかだ】

5. 今後の取り組み

土地利用調整の事業の導入により、農地集積が確実に前進しているものの、その実情は集団転作に取り組んだ結果から生み出されたところが大きく、未だ自己完結志向の農家が多いという現状もあります。現在、各アグリセンターの役員が中心となり、土地利用調整を始め、担い手の育成・連担団地の計画作成・集積計画の策定に携わるなど積極的な活動を行っており、アグリセンター全会員参加のもとで将来を据えた集落営農のあり方について、各集落毎話し合いを進めています。また改良区には、集積に関する相談窓口を開設し、地元農家への対応を行っております。

- 問い合わせ先 -

水土里ネットなかだ(北上川沿岸中田地区土地改良区)  
〒987-0601 登米郡中田町石森字駒牽238-1  
TEL 0220-34-2423 FAX 0220-34-3396